

シニアトークン

概要

高齢者が強みを提供できるプラットフォームを提供。

2040年には全体で単身世帯率が40%、64歳以上の有配偶者率31%と孤独を感じる人が多い。

ターゲットは孤独な高齢者・人とつながりたい高齢者。

高齢者の強みとは...経験、お金、人脈、知識、温かみやノスタルジーな部分。

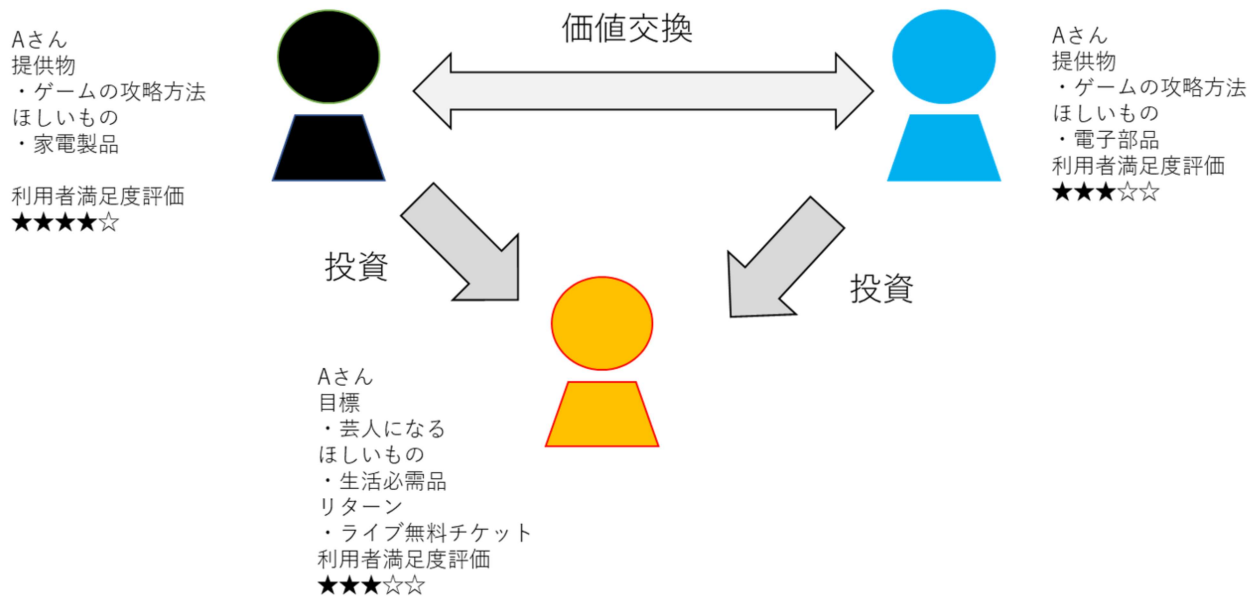
プラットフォームを利用する事で人とのつながりを体験でき、QOLを向上させることができる。

高齢者が若者や同じ高齢者にこういった強みを提供する事でトークンを得る事ができる。

トークンを得る事でブロックチェーンに強みや提供履歴が残り、トークンを利用して別の新たな提供先やコミュニティを発展できる。

例えば、メタバース上でアバターグッズを買える。

トークンに付与された特性に基づいて、友達やパートナーづくりのマッチングが行える。

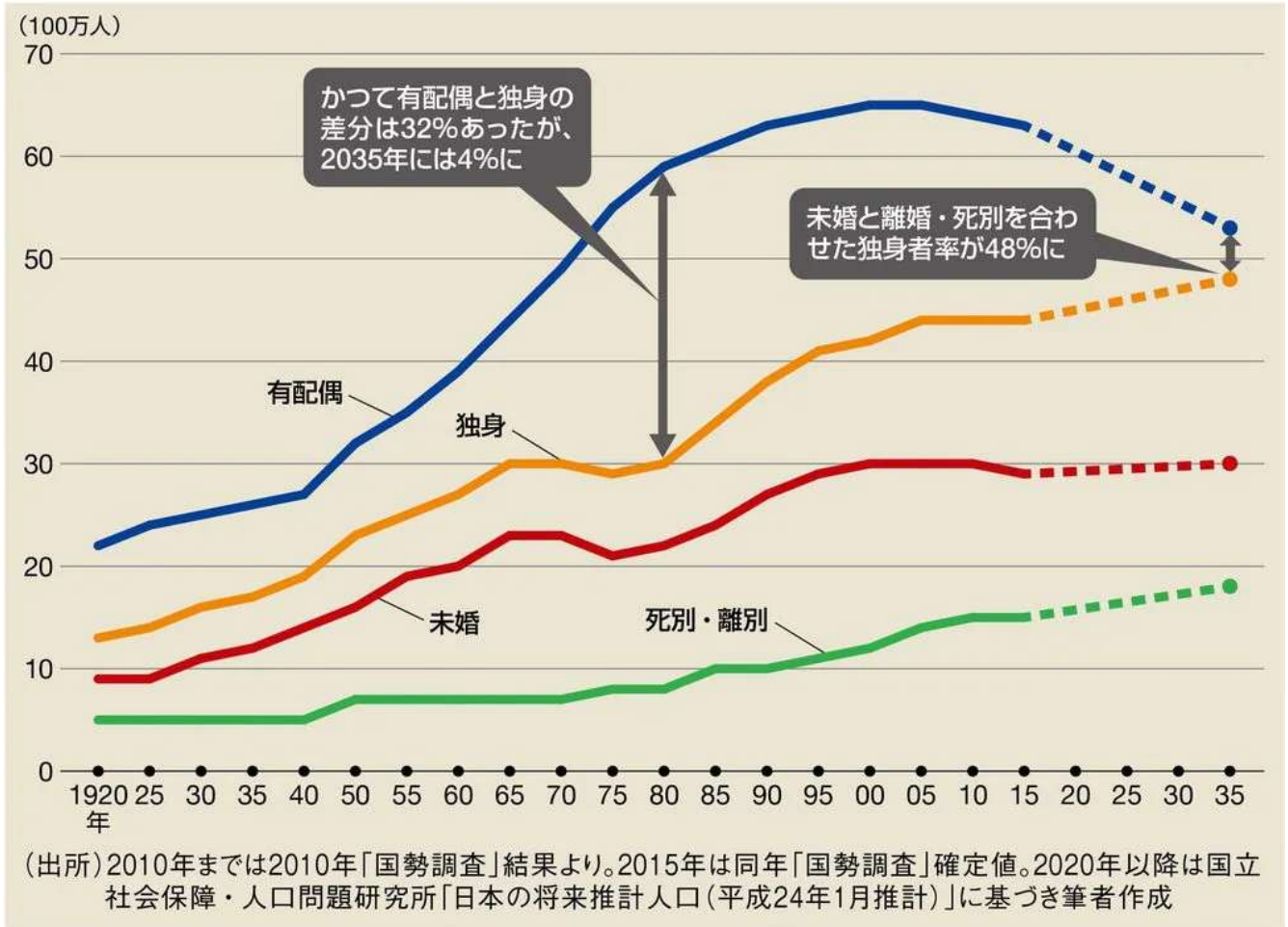


解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

高齢者のQOLの向上

- ・ 配偶者の有無で平均寿命が変化する→孤独でいる事が生活の質を下げ平均寿命を減らすと考える
- ・ やりたくてもできない事を同じ思想を持った若者に寄付投資ができる。
- ・ 単身世帯の高齢者が増えていく中で高齢者に人とのつながりを提供する。

2035年には独身者数が有配偶者数に迫る？—配偶関係別の人口推移—



解決方法： 課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

高齢者が強みを提供できるプラットフォームを提供。

高齢者の強みとは...経験、お金、人脈、知識、温かみやノスタルジー

- ・ やりたくてもできない事を同じ思想を持った若者に寄付投資ができる。
- ・ 他者が望んでいる強み/価値を提供する。

↓

- ・ 単独世帯の高齢者がが増えていく中で高齢者に人とのつながりを提供する。
- ・ つながりを得ることで幸福感や達成感を感じQOLが向上する。

類似（独創性）： 現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

寄付タウンというプラットフォームはあるが、

見返りががもらえない。

SNSでフォローが必要で偏りがあるように感じる。

利用層が若年層が多い。

しかし、お金の余裕がある層は高齢層である。

有意性： 既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

提供物がお金とは限らず、モノや情報などの資源も対象となる。
見返り(トークン)がもらえる。
利用ターゲット層が、お金の余裕がある。
トークンを利用して、あらたなつながりが生まれる

実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

+寄付タウンのようなプラットフォームの開発
アカウントに自分の提供できるものを記載。自分の求めている人にFaceBookのようにコンタクトをとって、つながりをもつ。
MMOの機能を搭載、キャラクターで会話したり、出会ったりするような機能
+広告によるユーザーの確保
+交換した数に応じた信頼性の評価制度をつける
口コミのような評価制度（ものと情報の信頼性、人柄などを数値化）

課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

高齢者への認知方法やデジタルリテラシー不足が課題。
マイナンバーカードを利用？

期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

開発期間：2年(モニター・ベータ版運用1年)
開発費：プラットフォーム開発費_1000万円
アプリ開発_1000万円
運用費：200万円/月
広告費：250円×10000回/月

未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

+何かに挑戦したい若者が投資を軽い気持ちで受けられる
+高齢者は他人との交流を増やすことができるようになる
+ほしいものや情報を得ることができ、QOLが向上する
・経済の循環により出生率が向上し、少子化高齢化スパイラルの歯止めに